

小国高校

vol 187

2012.9

ジャーナル

地域文化学 特集 その2

1年生が「総合的な学習の時間」で取り組んでいる地域文化学各班の活動内容の経過を紹介します。(今回は2回目)

6 班

テーマ「保育・介護の今昔」

指導教官：羽陽学園短期大学 専攻科福祉専攻 佐々木達雄 先生

羽陽学園短期大学の佐々木達雄先生のご指導をいただきながら、小国町の福祉を調べています。

健康管理センターを訪問して、小国町の介護と保育の現状や制度についてお聞きし、それを参考に「さいわい荘」と「あさひ保育園」を訪問しました。施設の見学や実際に現場で働いている職員の方の取材を通し、小国町の介護と保育の実態や課題についてまとめているところです。



2 班

テーマ「身近なエネルギーと熱
～省エネ・節エネ社会の実現～」

指導教官：山形大学工学部 大学院理工学研究科 高橋一郎先生

2班は高橋先生のご指導を頂きながら、熱浸透率の測定装置製作と、それを用いた測定を行いました。様々な物質の熱浸透率を測定するなかで、今後は小国町の木材に焦点を当てて測定していきたいと考えています。



3 班

テーマ「昔物語の伝承地を巡る」

指導教官：東北文教大学短期大学部 総合文化学科 菊地和博先生

3班は菊地先生のご指導を受けながら、「歩く・見る・聞く」を合言葉に、伝承される昔物語を調べています。小国町の語りをお聞きし、その物語の舞台となった場所を実際に訪れました。現地の人にお話を伺いながら、昔物語を映像化し記録をまとめています。



玉川地区の三平岩屋付近にて